

授業科目名(英文名) /Course Title	老年看護学実習/Clinical Practice in Gerontological Nursing/Clinical Practice in Gerontological Nursing		
担当教員(所属)/Instructor	新鞍 眞理子(医学部看護学科),牧野 真弓(医学部看護学科),青木 頼子(医学部看護学科)		
授業科目区分/Category	専門教育科目 看護学		
COC+科目/COC+Course	地域課題解決科目	授業種別/Type of class	実習科目
開講学期曜限/Period	2019年度/Academic Year 前期・その他	対象所属/Eligible Faculty	医学部看護学科/Faculty of Medicine Department of Nursing
時間割コード/Registration Code	154630	対象学年/Eligible grade	4年
ナンバリングコード/Numbering Code	1M2-85044-0300	単位数/Credits	3単位
オフィスアワー(自由質問時間) /Office hours	新鞍 眞理子(メールで事前連絡してから訪問すること)		
リアルタイム・アドバイス/Real-time advice	更新日		
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標)/Course Objective			
看護師実務経験を有する教員の指導のもとで、老年期にある人及びその家族との関わりを通して、健康及び生活上の障害を包括的に検討し、生活の質と機能レベルが維持・向上するための看護実践のあり方を理解する。			
達成目標/Course Goals			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期にある人及びその家族との関わりを通して、その人が生きてきた過程を尊重する態度を養い、自己の高齢者観や看護観を深める。 2. 高齢者ケアを担う多職種の役割を理解し、スタッフとの連携を通して自己のケアに対する責任感や調整能力を養う。 3. 高齢者向けの施設の概要と、そこでの高齢者の生活状況を把握し、看護の役割を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 実習施設の特徴及び機能や多彩なサービスの実態を説明することができる。 ② 看護・介護体験をふまえ、実習施設における看護職の役割を説明することができる。 ③ 保健・医療・福祉制度の現状を理解し、今後期待される看護職の役割について検討することができる。 4. 健康及び生活上の障害を持つ老年期の人に対するケアプランの立案・実施・評価のプロセスを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 既存の高齢者用アセスメントツール(包括的自立支援プログラム、機能的健康パターン等)を用いて、包括的に対象者の情報収集を行なうことができる。 ② 対象者の全体像を明らかにし、ケアプラン立案が必要な状態であるかを判断することができる。 ③ 対象者の個性に応じて適切な目標を設定し、ケアプランを立案することができる。 ④ ケアスタッフに対して、立案したケアプランの根拠や実施方法を説明し、助言をもらい実施することができる。 ⑤ ケアプランの成果(アウトカム)を評価し、修正することができる。 5. 認知症や身体可動性障害を持つ高齢者に必要な看護・介護技術を実施することができる。 			
授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class schedule			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習場所：富山県内の病院、介護老人保健施設 2. 実習期間：2月から7月 3. 実習方法： <ol style="list-style-type: none"> 1) 体験実習 <ol style="list-style-type: none"> ①実習オリエンテーション ②必要な看護技術の再確認(生活行動援助技術、バイタルサイン測定、コミュニケーション) 2) 臨地実習 <ol style="list-style-type: none"> ①対象者1名を受け持ち、実習施設の日課に関わりながらケアプランの立案、実施、評価を行う。 ②実習施設の日課を通して、高齢者の日常生活の援助に参加する。 ③集団レクリエーションやグループワークの企画・運営・評価を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康維持・増進のためのリハビリテーション ・認知症高齢者のための回想法・見当識訓練(RO)・音楽療法等 ④多職種連携の場面を見学する(担当者会議、事例検討会、退院前訪問等。) 4. 実習内容：具体的な内容は、実習オリエンテーション時に提示する。 			
授業時間外学修(事前・事後学修)/Independent Study Outside of Class			
既習の授業で使用した教科書・プリント類を見直し、まとめのノートを作成して実習時に活用できるようにしておくこと。			
キーワード/Keywords			
病院・老人保健施設、退院調整・退院支援、他職種カンファレンス、介護保険法、デイケア、リハビリテーション、家族支援、ケアプラン、アセスメントツール(包括的自立支援プログラム、ゴードン機能的健康パターン)、実務経験教員科目			
履修上の注意/Notices			
実習時間および提出物の期限を厳守すること。実習中は、実習施設の実習担当者および学内の担当教員への報告、連絡、相談を行うこと。自己の健康管理を行うこと。			
教科書・参考書等/Textbooks			
教科書：指定なし。			
参考図書：老年看護学総論、老年看護論、老年臨床医学で使用した教科書を参考に。それ以外の図書は適宜紹介する。老年看護論で使用した配布資料を参考に。資料：臨地実習要領、老年看護学実習配布資料			
成績評価の方法/Evaluation			
【達成目標に対する評価】			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期にある人及びその家族との関わりを通して、その人が生きてきた過程を尊重する態度を養い、自己の高齢者観や看護観を深める。(実習記録10点) 2. 高齢者ケアを担う他職種の役割を理解し、スタッフとの連携を通して自己のケアに対する責任感や調整能力を養う。(実習記録10点) 3. 高齢者向けの施設の概要と、そこでの高齢者の生活状況を把握し、看護の役割を理解する。(実習記録10点) 4. 健康及び生活上の障害を持つ老年期の人に対するケアプランの立案・実施・評価のプロセスを理解する。(実習記録とカンファレンス等での発言70点) 			
実習中の看護実践・カンファレンス等：担当した高齢者の看護過程を展開できること、発表資料を作成してカンファレンスで看護過程を発表できること、カンファレンスでは積極的に質疑応答ができることを求める。 実習記録・実習レポート・各種評価表内容等：到達目標を満たしていることを求める。			
関連科目/Related course			
老年看護学総論、老年看護論、老年臨床医学			
リンク先 URL/URL of syllabus or other information			
http://www.med.u-toyama.ac.jp/ger/ug/index.html			
備考/Notes			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習方法は施設によって異なるため、詳細についてはオリエンテーションにて説明する。 2. 実習内容については、オリエンテーション、体験実習、技術実習、施設実習、カンファレンスを含む。 			